

貯法：室温保存
有効期間：4年6ヵ月

外用抗ヒスタミン剤

ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩製剤

ベナパスタ[®]軟膏4%VENAPASTA[®] Ointment

承認番号	22000AMX00091
販売開始	1950年10月

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分 (1g中)	ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩 40mg
添加剤	グリセリン脂肪酸エステル、サラシミツロウ、ショ糖脂肪酸エステル、シリコーン樹脂、ステアリン酸、ステアリン酸カリウム、ステアリン酸ポリエチレングリコール、セタノール、ソルビタン脂肪酸エステル、パラフィン、ブチルパラベン、プロピレングリコール、ポリオキシエチレンセチルエーテル、メチルパラベン、ラノリン、流動パラフィン その他の添加剤として香料にエタノール、フェニルエチルアルコールを含有する

3.2 製剤の性状

性状・剤形	白色の軟膏、特異臭
-------	-----------

4. 効能又は効果

- じん麻疹
- 湿疹
- 小児ストロフルス
- 皮膚そう痒症
- 虫さされ

5. 効能又は効果に関連する注意

5.1 炎症症状が強い浸出性の皮膚炎の場合には、適切な外用剤の使用によりその炎症が軽減後もかゆみが残る場合に使用すること。

6. 用法及び用量

通常症状により適量を1日数回患部に塗布又は塗擦する。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	0.1～5%未満
過敏症	皮膚の発赤、腫脹、そう痒感、湿潤

注) 発現頻度は、再評価の結果を含む。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

ヒスタミン作用を抑制する。ヒスタミン皮膚反応¹⁾～³⁾、マントー反応²⁾及び回虫体液腔液反応²⁾の実験的皮膚反応における紅斑、膨疹、そう痒に対し抑制作用を示す。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩
(Diphenhydramine Laurylsulfate)

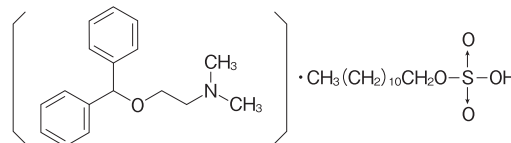
化学名：2-(Diphenylmethoxy)-N,N-dimethylethylamine

分子式：C₁₇H₂₁NO・C₁₂H₂₆O₄S

分子量：521.75

性状：白色～黄褐色の固体又は粘稠な液。アセトニトリル、メタノール、エタノール（99.5）又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水に極めて溶けにくい。

構造式：



20. 取扱い上の注意

開蓋後カビが発生する場合がありますので、汚染防止のため、清潔に取扱うこと。

22. 包装

500g（ボトル）

23. 主要文献

- 1) 小堀辰治, 他：臨床皮膚泌尿器科. 1951；5（11）：518-521
- 2) 野口義園, 他：臨床皮膚泌尿器科. 1952；6（2）：76-78
- 3) McGAVACK TH, et al.：Arch Derm Syphilol. 1948；57（3）：308-318

24. 文献請求先及び問い合わせ先

田辺三菱製薬株式会社 くすり相談センター
〒541-8505 大阪市中央区道修町3-2-10
電話 0120-753-280

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



田辺三菱製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-2-10